

23日から全国で開催される全国高校総体（インター・ハイ＝IH）に出場する向日市の京都西山高と向陽高の生徒と指導教員が市役所を訪れ、健闘を誓

出場するのは京都西山高がソフトボール部17人と少林寺拳法部9人、陸上競技部1人。向陽高が自転車競技部1人と体操競技部1人。

人。それぞれ29日から来月9日にかけて試験に出る。代表で訪れた生徒さんは、安田守市長と永野憲男教育長に力強く意気込みを述べ、一人

一人激励を受けた。  
京都西山高陸上競技部から23年ぶりに「U-15」を決め、100m障害で出場する3年田邊さん(17)は「決勝に

た。自転車競技のボントレースに挑む向日町競高2年彦坂拓真さ(16)は「向日町競場や天王山で脚力を書いてきた。全力を出

一人激励を受けた。  
京都西山高陸上競技部から23年ぶりにIHを決め、100m障害に出場する3年田邊葵さん(17)は「決勝に残り、高校の日本記録を目指す」と熱く語つていた。(古市大)

(16)は「向日町競場や天王山」で脚力を磨いてきた。全力を出したい」と意気込めた。

# IH「全力出し切る」

京都西山高と向陽高の出場選手ら  
向日市役所訪問、健闘誓う



四国で開催される全国高校総体での活躍を誓つた京都西山高と向陽高の生徒たち（向日市役所）